

試験名	資格免許職(診療放射線技師A)
区分	専門試験

〔例題1〕 肺癌の放射線治療についての記述として最も妥当なものはどれか。

1. 早期の小細胞肺癌では体幹部定位放射線治療が代表的な治療法である。
2. 小細胞肺癌は放射線治療単独で寡分割照射を行う。
3. 進行期肺癌の5年生存率は90%以上である。
4. 放射線肺臓炎は急性期有害事象である。
5. 非小細胞肺癌では予防的全脳照射を行う。

試験名	資格免許職(診療放射線技師A)
区分	専門試験

[例題2] 核医学診断装置についての記述として最も妥当なものはどれか。

1. PET検査に使用する核種の半減期は6日～数日である。
2. SPECT装置は陽電子放出核種を使用する。
3. PET装置はSPECT装置に比べ感度、解像力に優れている。
4. SPECT装置はPET装置に比べて定量性に優れている。
5. SPECT-CT装置は減弱係数マップを作成すれば、位置ずれが生じることはない。

試験名	資格免許職(診療放射線技師A)
区分	専門試験

〔例題3〕 医療機関における「CQI (Continuous Quality Improvement)」とはどれか。

1. 患者の待ち時間を短縮すること
2. 医療提供の質を継続的に向上させること
3. 医療スタッフの業務効率を向上させること
4. 医療機器のコストを削減すること
5. 病院の外観を改善すること